

財務諸表に対する注記

一般会計

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

備品……………旧定額法及び平成19年4月1日以降取得資産については新定額法による減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準について

退職給付引当金……期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
退職給付引当特定預金	16,490,659	3,196,341	0	19,687,000
小 計	16,490,659	3,196,341	0	19,687,000
合 計	116,490,659	3,196,341	0	119,687,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	100,000,000	(100,000,000)	(0)	
小 計	100,000,000	(100,000,000)	(0)	
特定資産				
退職給付引当特定預金	19,687,000	-	(19,687,000)	(19,687,000)
小 計	19,687,000	(0)	(19,687,000)	(19,687,000)
合 計	119,687,000	(100,000,000)	(19,687,000)	(19,687,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
備 品	15,420,700	7,254,824	8,165,876
合 計	15,420,700	7,254,824	8,165,876

5. 指定正味財産から基本財産運用益342,027円を一般正味財産へ振り替えた。